

產業組合法中改正法律案外一件(產業組合法中改正法律案) 委員會會議錄(速記)第三回

會 議

大正十年三月十四日午後一時三十五分開議

出席委員左ノ如シ

福井 三郎君 長谷場 敦君 西川 嘉門君

梅田 潔君 塚原 嘉藤君 金光 庸夫君

樋渡次右衛門君 淺賀長兵衛君 横山勝太郎君

土井 權大君 佐竹 庄七君

出席政府委員左ノ如シ

內務書記官 田子 一民君

農商務省農務局長 岡本英太郎君

農商務書記官 土居 保忠君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

產業組合法中改正法律案

住宅組合法案

○委員長(福井三郎君) ソレデハ前會ニ引續イテ開會致シマス、二案共前會ニ質問ヲ終了シテアリマスガ、住宅組合法ニ就テハ、今一二問答シタイト云フ申出モアリマスカラシテ、ソレハ其機會ニ於テ御諮リヤスルコトニ致シマシテ、先ツ質問ヲ終了シテ居ル產業組合法中改正法律案ニ就キマシテ、御意見ヲ承ルコトニ致シマス、就テハ討論ノ通告ガアリマスカラシテ、其順ニ依ッテ土井君ニ御發言ヲ願ヒマス

○土井權大君 御承知ノ通り、產業組合ハ小資本家、中産階級、竝ニ中産階級以下ノ聯合ニ依リマシテ、自治的ニ自ラノ福利増進ヲ圖ル經濟組織デアリマス、加フルニ社會政策實行上極メテ必要ナル經濟組織デアリマスルト云フコトハ御承知ノ通りデアリマス、甚タ講釋ガマシイコトヲ言フヤウデアリマスガ、「ルーズベルト」デアリマシタカ、世界人類始マツテ以來、人類ノ幸福ヲ増進スルモノハ產業組合ヲ措イテ他ニ無イト言ウタ位ニ、重大ナル社會政策上必要ナル經濟組織デアリマス、我國ニ於テハ御承知ノ通り、其數一万二千内外モ出來テ居リマスルガ、悲哉玉石混淆デ發達シテ居ナイノデアリマス、中ニハ良イノモアリマスケレドモ、大體

微々トシテ振ハナイ、其原因ニ遡ッテ、何故ニ斯ノ如ク玉石混淆シテ微々トシテ振ハナイ組合ガ多イカト云フト、第一ニ庶民階級ニ自覺心ガ無イ、事實ニ於テ經濟ノ發達ヲ圖ルト云フ確信ガ無イ、特ニ都會ニ於テ然リ、農村ニ於テ然リデ、實ニ慙ムベキ狀態デアリマス、是ハ是等ノ罪ト謂ハナケレバナラヌ、第二ト致シマシテハ、都會若クハ農村ニ於キマシテ、相當知識アリ、相當財產アル者ガ、何等之ヲ願ミナイ、他ノ慈善デアルトカ其他ノ事ニ就テハ、口ニ信義ヲ說イテ居ルケレドモ、實際庶民階級ニ利益ノアル產業組合ノ組織ニ就テハ願ミナイ、ソレハ彼等ガ銀行ヲ經營シテ居リ、其他ノ會社ニ關係シテ居ル爲メニ、若シ庶民階級ガ聯合シテ大資本家ト同シ仕事ヲスレバ、自己ノ職業ヲ略奪サレルト云フ暗示カラ出タノデアリマセウガ、要スルニ知識階級財產階級ガ願ミヌノガ、第二ノ發達シナイ理由デアリマス、第三ハ組合ニ從事シテ居ル人ニ對スル優遇方法ガ缺如シテ居ルコトデ、是ハ先日樋渡君カラモ御述ニナツタ通り、優遇方法ガ無イ、是ガ第三ノ發達シナイ所以デアリマス、第四ハ組合事業ノ區域ガ餘リ狹隘ニ失シテ居ッテ、伸縮自在ニ事業ヲ行フコトガ出來ナカッタ、是ガ第四ノ發達シナイ所以デアリマス、然ルニ幸ニ此度ハ是等ノ缺點ヲ補フニ洵ニ結構デアリマスガ、併ナガラ先日モ申シマス通り、信用組合ノ區域擴張、即チ聯合會ニ這入ラル、制度ガ定メテナイ、尤モ其中央ニ庶民銀行ヲ造ルノハ非常ニ研究ヲ要スル問題デアリマスガ、少ナクモ一府縣ヲ一區域トシテ、聯合會ニハ一郡ヲ一區域トシテ加入セシムルコトガ出來ル、若クハ數箇町村相寄ッテ加入セシムルコト云フコトニシタラ、一層信用組合ヲ運用スル上ニ於テ、區域ヲ擴大スル上ニ於テ利益ガアラウト思ヒマス、第五ハ組合ノ振興ニ要スル人材ガ缺乏シテ居ルコトデアル、是ハ地位アリオアル者ガ此事業ニ携ハラヌト同事ニ、其他ニ於テモ組合振興ニ要スル事

柄ガ、現ニ缺ケテ居ル、斯ウ云フ狀態デアリマス、例ヘバ二宮尊徳ノヤウナ人ヲ要スルケレドモ出ナイ、小ナル二宮尊徳スラモ出ナイ、第六ト致シマシテハ、先日モ樋渡委員ヨリモ御話ガアリマシタガ、是ハ經費ノ關係モアリマセウガ、一ツハ信用組合ノ聯合會——更ニ上級ノ信用組合ヲ聯合會ニ加入セシメテ、其一府縣ヲ區域トスル信用組合ガ之ヲ統一スルト云フコトニナツタラ宜カラウト思ヒマスガ、此點ニ於テ何等ノ規定モアリマセヌ、第七ハ中央會ガ微々トシテ振ッテ居ラナイ、甚タ申シニクイコトデアリマスケレドモ、中央會ハ農商務大臣ガ之ヲ監督スルコトニナツテ居リマスガ、或ハ監督ガ鈍イノデアルカ、或ハ嘴ヲ容レヌノガ宜イト云フヤウナ御考ヘデアルカ知ラヌケレドモ、兎ニ角舊イ幹部ニ人物ガ無イ、平田ト云フ人ハ立派ナ正直ナ人デアリマセウケレドモ、併ナガラ創業ト云フコトニ就イテハ保守的ナ人デアル、斯ウ云フ人ガ居ル、又其他志村サント云フ人ハ勸業銀行ニ居ッテ忙シイ人デアリマス、殊ニ信用組合ヲ發達セシムルニハ中央庶民銀行ヲ造ラナケレバナラヌ、サウスレバ、勸業銀行ノ仕事ヲ奪ハレハシナイカ、若シサウデナイトシテモ、斯ウ云フヤウナ事ヲ御考ニナツテ居リハシナイカト思ヒマス、是ハ邪推デアリマシテ、中ツタラ不幸デアリマスガ、此點ニ就テ十分御監督ヲシテ戴キタイト思フノデアリマス、ソレカラ指導、獎勵普及、斯ウ云フヤウナ事ハ中央會當然爲スベキ仕事デアリマスガ、指導、獎勵、普及ニ就テハ怠慢デアルト思ヒマス、一年ニ一回產業組合ノ大會ヲ開イテ、熊本ノ吉田ト云フ行司ガ相模取ノ番付ヲヤルヤウナ、表彰ダトカ何トカ云フヤウナコトデハ、指導ニモ、獎勵ニモ、普及ニモナラヌ、斯ウ云フ狀態デアリマス、即チ今日國家ガ發達セザルコトハ、只今申シマシタ、第七點デアルト思フノデアリマス、要ハ制度ノ罪モアリ、人ノ罪モアリマス、又宣傳ノ行届カナイ所モアリ、運用上ノ罪

モアリマス、併シ今回ノ改正ハ改正セザルニ優ツテ居ルト思ヒマスガ、特ニ購買組合ノ利用組合ハ、改正ノ點ニ於テ分業ノ組合ノ聯合ヲ獎勵サレテ、是迄ノ如キ八百屋式ノ聯合ヲ改正サレテ禁セラレタト云フニ至ッテハ、一大進歩ト考ヘルノデスケレドモ、缺點ヲ申シマスレバ以上ノ通りデアリマス、併シサウ完全ナコトヲ一時ニ望ムコトハ出來マセヌガ、又會期モ切迫シテ居リマスカラ、色々修正スルト手遅レニナリマスノデ、要スルニ特ニ今回ノ改正ハ幾分ノ進歩デアリマスカラ、斯ウ云フ譯ヨリ致シマシテ原案ニ贊成致シマス、併シナガラ政府ニ於テハ十分注意シテ、中央ノ刷新ヲ圖ツテ、指導獎勵ニ關スル宣傳ニ努メラレテ、折角此立派ナル社會政策ヲ實行スルニ必要ナル濟經組織ヲシテ、益々改善ノ域ニ進メラレンコトヲ望ム次第デアリマス

○委員長(福井三郎君) ドナタカ御意見ガアリマセヌカ

○淺賀長兵衛君 私共モ產業組合法ノ改正セラレタル點ニ就テハ、滿腔ノ贊成ヲ表スル者デアリマス、而シテ希望ノ點ニ就キマシテ、今ヤ土井君ノ御發議ニ依ッテ全部ヲ悉サレテ居リマスカラ、吾々ハ其趣意ヲ以テ原案ニ贊成致シマス

○委員長(福井三郎君) 別ニ變ッテ御意見モ無イヤウデゴザイマスカラ採決シマセウ、土井君ヨリ御聽ノ通りノ注意ガアリマシテ、結局原案ニ贊成スルト云フ御意見ガ出テ居リマス、淺賀君モ亦之ニ贊成ノヤウデゴザイマス、原案贊成ニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(福井三郎君) ツレデハ御異議ナイモノト認メマス、全會一致ヲ以テ本案ハ原案通り可決致シタルコトヲ宣言致シマス——ツレカラ住宅組合法案ニ移リマス、此案モ前會ニ質問ハ終了ニナツテ居ルノデゴザイマスガ、尙ホ思付ノ箇條ガ一二アルト云フコトデ、質問ヲシタイト云フ御申出ガアリマシタ、質問ヲ聽イテ宜シウゴザイマセウカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(福井三郎君) ツレデハ御異議ナイヤウデゴザイマスカラ、通告ニ依ッテ長谷場君

○長谷場敦君 一二御尋致シマスガ、此第條二ノ第一號ハ住宅用地ノ取得造成、若ハ借受又ハ組合員ニ對スル貸付、若ハ讓渡ト云フコトニナツテ居リマスガ、第二號ハ住宅ノ建築又ハ購入ノミデアリマシテ、之ニ對シテ「貸付」若ハ「讓渡」ト云フ文字ガ足ラヌヤウニ思ヒマスケレドモ、是ハ第一條ノ住宅ヲ供給スルヲ以テ目的トスルト云フ文句ニ依ッテ、補ハレテ居ルノデアリマセウカ、ツレカラ次ニハ現在市町村ニ低利資金ヲ貸付ケテ、市町村ガ住宅經營ヲヤツテ居ルモノガアリマスガ、此組合法ト其等ノ市町村ノ經營トハドウ云フ關係ヲ有チマスカ、ツレカラモウ一ツハ第十二條ノ「北海道地方費、府縣又ハ市町村ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ住宅組合ニ對シ、住宅資金ヲ貸付スルコトヲ得」ト云フ文句ガアリマスガ、是ハ先日ノ御説明ニ依リマス、成ベク低利資金デモ澤山貸付ケルヤウナ、方法ヲ圖ラウト云フ御説明デアリマシタガ、サウ云フ場合ニハ府縣若クハ市町村ニ御貸付ニナツテ、サウシテ市町村カラ其組合ニ貸付ケル順序ニナルノデアリマス、之ヲ承リタイ、モウ一ツハ住宅組合ハ、或ハ產業組合ニ準ズルヤウニナツテ居ルカモ知レマセヌカ、成立ノ區域デアリマス、行政區劃ニ依ッテ成立ヲ許可スルコトニナリマス、或ハ一箇町村ニ幾ツデモ出願者ガアッタナラバ、ツレデ認可スルコトニナリマス、是ダケヲ伺ヒタイ

○田子政府委員 御答致シマス、第一點ハ第二條第二號ノ住宅建設購入ニ關係シテ、第一條ノ供給ノ解釋ノ御尋デアリマシタガ、先般説明ヲ申上ケマス際ニ、或ハ言葉ガ足ラナカッタカモ知レマセヌカ、供給ノ中ニハ只今御示ノアリマシタヤウニ、讓渡並ニ貸付ヲ含ム趣旨デ規定シテ居リマス、第二點ノ資金ノ貸付ノ順序ニ付テハ御尋ハ、實ハ只今低利資金ヲ供給シテ居リマス場合ニハ、地方公共團體ヲ通シテ貸付ケテ居リマス、併ナガラ是非常ナ煩瑣ナ手續デアルトシマシテ、此中間團體ノ通過ヲシナイデ、直接貸付ヲ希望サレル向ガ多クゴ

ザイマス、此注文ニ依リマシテハ、其低利資金ノ供給ハ、地方團體ヲ通ストモ通サナイトモ規定ハシテアリマセヌカ、成ベク將來ハ便宜ナ方法ニ依リタイト考ヘマス、但シ十二條ニ規定シテ居リマス「勅令ノ定ムル所ニ依リ」云々ト云フノハ、償還期間デアルトカ、利率ト云フヤウナモノヲ、此規定ノ内容ニシタイト考ヘテ居ルノデアリマス、ツレカラ組合成立ノ區域デアリマスガ、市町村ノ區域内ニ於テ數箇ノ組合ノ成立ハ、之ヲ可能ナリト考ヘテ居リマス、ツレカラ現在市町村デ經營致シテ居リマスモノハ、此儘矢張繼續スル考デアリマス、併ナガラ市町村ニ於ケル住宅供給ハ、主トシテ貸付ヲ目的トシマシマスノデ、本法案ノ如ク取得ヲ大體ノ目的トシテ、貸付ハ其附帶的ノ働ト考ヘマスノトハ性質ヲ異ニシテ居リマスカラ、是ハ兩々相俟ッテ進メタイ考デアリマス

○長谷場敦君 サウ致シマス、現在ノ市町村經營ノ住宅モ、資金ノ許ス範圍ニ於テ、益々獎勵シ、同時ニ住宅組合ノ成立モ獎勵スルト云フ御意見デゴザイマス

○田子政府委員 市町村經營ノモノト住宅組合トハ兩立スル考デアリマスガ、其兩立ノ程度ニ就キマシテハ、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス、市町村經營ノ分ハ、管理等ニ就テ餘程ノ不便ヲ感ジテ居リマス、即チ自己ノ家屋ヲ保存シマス、市町村ノ家屋ヲ一定ノ吏員ガ管理スルノトデハ、保存上ノ注意ニ就テ自ラ差ガ生ジマス爲メニ、市町村經營ノモノニハ、多少ノ不便ヲ認メテ居ルノデアリマシテ、將來之ヲ運用スル場合ニ於キマシテハ、組合營、市町村營ト資金ノ供給ヲ一ツナガラ申出デタ場合ニハ、其前後ヲ如何ニスベキカト云フコトハ、相當考慮ヲ費シタイ考ヘデゴザイマス

○淺賀長兵衛君 只今長谷場君ノ質問ニ關聯シテ……サウスルト本法第一條第二項ニ「住宅組合ハ法人トス」トアル、此法人ノ解釋ニ就テノ御説明ヲ願ヒタイ

○田子政府委員 此法人ハ其性質カラ考ヘマスレバ、所謂學者ノ中間法人ト考ヘテ居リマス、而モ中

問法人ニハ營利ニ近イ中間法人ト、公益的施設ニ近イ法人ト兩方アルヤウニ考ヘテ居リマス、是ハ公益的の中間法人——公益ニ最も接近シタ法人ト解釋ヲ致シテ居リマス

○塚原嘉藤君 此住宅組合ハ第一條デゴザイマスガ、住宅組合ハ組合員ニ住宅ヲ供給スルト云フ風ニ書イテアリマシテ、サウシテ此供給スルト云フコトヲ、此間ノ御説明デハ「取得」ト云フ言葉ヲ政府委員ハ御使ニナリマシテ、サウシテ私ハソレニ就テ取得デアルト云フ意味デアルカラシテ、然ラバ貸付ト云フコトハ、入ッテ居ラナイノデアラウト云フ考ヲ起シマシテ、ソレカラ此條文ヲ皆ナ見マシタ所ガ、此中ニ住宅ノ貸付ト云フコトハ、一箇條モ書イテナイノデアリマシテ、先程ノ長谷場君ノ御質問ノ第二條第二號ニ、「住宅ノ建設又ハ購入」トシテアリマシテ、組合員ニ對スル讓渡貸付ト云フコトハ書イテアリマセヌ、ソレヲ承リマスレバ、是ハ第一條ノ目的ニ書イテアルコトデアルカラシテ、當然書カズトモ此中ニ入ッテ居ルト云フ御解釋デアリマスルガ、私ハ其點ハ特ニ政府委員ニ、此所ヲ明カニモウ一遍言明シテ戴キマシテ、サウシテ此第二條ノ二號ハ、住宅ノ建設又ハ購入及組合員ニ對スル貸付、若クハ讓渡ト云フコトデアルト云フコトヲ明瞭ニ言ッテ戴キマセヌケレバ、此一條ノ目的ノ供給ト云フ言葉ガ、兎角取得ノミヲ意味スルヤウニ聞エマス、取得ト同時ニ貸付ト云フコトモアルヤウニ見エマスカラシテ、要スルニ此住宅組合デ定款ヲ造リマス場合ニ、ソレノ解釋ニ困難ヲ爲シハシナイカト云フコトヲ懸念致シマスルカラシテ、第二條ノ二號ト云フモノハ、住宅ノ建設又ハ購入及組合員ニ對スル貸付若クハ讓渡ト云フコトニ明瞭ニ此處デサウ云フ風ニ言明シテ下サッテサウレテ速記録ニ殘シテ置キタイト思ヒマス

○田子政府委員 只今ノ御要求ハ第一條ニ於キマシテ、讓渡並ニ貸付ヲ兩方含ムト云フコトヲ言明スルコトハ何等躊躇致シマセヌ、先程長谷場君ノ御質問ガアリマシタ際ニ御答シタ通りデアリマス、但シ第二條ノ二號ノ住宅ノ讓渡並ニ貸付ヲ含

ムト云フコトハ、ソレハ重複スルノデアリマシテ、第一條ノ根本ノ目的ヲ達シマスル爲メニ、此住宅ノ組合ハ左記事項ノ事ヲ行フコトガ出來ル、即チ貸付ト讓渡トシカ出來ナイ、然ラバ住宅ヲ建テルコトハドウカ、住宅ヲ買フコトハドウデアルカ、土地ヲ買フコトハドウデアルカト云フ迷ヲ生ジマスカラ、書キマシタノデ、二條ハ立法技術ニ關シマシテ、斯ウ云フ規定ヲ置キマシタノデ、茲ニ更ニ二號ノ購入ノ下ニ貸付及讓渡ヲ含ムト云フ文字ハ含ムトハ申サナクテモ、第一條デ明瞭致シテ居ルト思ヒマス、尙又此供給ノ解釋ハ、第七條ノ第二號ノ組合ノ定ムル住宅、使用條件、此使用條件ト云フ言葉ハ貸付ヲ致シマシタ際ノ條件デゴザイマシテ、第一條ノ供給ニハ立法致シマス當時ニ於キマシテ、既ニ讓渡並ニ貸付兩方ヲ含ムト云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマスカラ、其程度デ御満足ヲ願ヒマシテ、本法案ノ趣旨ガ明瞭デアルト考ヘルノデアリマス

身ガ仕事スル上ニ於テ、不便ノ點アリト斯ウ感ズルノデアリマス、之ガ第一點デアリマス、其點ニ於テ政府ニ於テハ將來御研究ガ願ヒタイ、ソレカラ第二ト致シマシテハ、是ハ先日淺賀君ヨリモ御質問ガアリマシタガ、不正行為ヲ矯正スル條文ガ要リハシナイカト思ヒマス、言葉ヲ換ヘテ言ハバ、不正利得ヲ行フ所ノ制裁、此不正行為ヲ豫防スル方法ハ如何ナ事デアアルカト云ヘバ、住宅組合ノ組合員トナッテ千圓ナラ千圓ノ拂込ヲ致シテ、五年或ハ十年其期間ハ組合ノ定款デ定メルコトデアリマセウガ、期間内ニ自己ノ完全ナル所有ニ移シテシマツテ、サウシテ單ニ組合ナルガ故ニ其組合員全部ガ住宅ノ供給ヲ受ケタトキニ、債權債務ノ關係ガ無クナツタ場合ニ何レ解散ニナル、其場合ニ幾ニ千圓出シテ買ッタ所ノ家若クハ宅地ガ、其組合ガ解散ニナツタトキニ五千圓ニナッテ居ルカモ知レナイ、目下都會ノ土地家屋ト云フモノハ非常ニ騰リツ、アル、又田舎デモサウ云フ傾向ガアリマス、所謂偶然ノ取得ヲ見込デ此組合員ニナッテ、其利得ヲスル者ガナイカト疑フノデアリマス、其點ニ對スル制裁ハドウ爲サル、若クハ斯ノ如キ不正行為ニ對シテハ如何ナル豫防方法ガアルカ、此點ニ就テ十分ニ研究ヲ願フト同時ニ、其事モ此條文ノ中ニナケレバナラヌト思ヒマス、斯ウ云フ考ヲ持ッテ居リマスガ、政府ニ於テモ此點ニ就テ十分ノ御注意、御研究アラソコトヲ望ムノデアリマス、實ハ修正ナドヲ致シマス、幾ニ產業組合法ノ時ニ申上ゲタ如ク會期切迫ノ際デアリマスカラ、貴族院ガ通ラヌト、折角ノ社會政策モ水泡ニ歸スルノデアリマスカラ、滿腔ノ敬意ヲ以テ贊成スルト同時ニ、此二點ニ就テ御注意アラソコトヲ望ム次第デアリマス

○塚原嘉藤君 結構デゴザイマス、ソレデ宜シウゴザイマス

○委員長(福井三郎君) 他ニ御質問ハアリマセヌカ——ソレデハ本案ノ質問ハ是デ全ク終了致シマシタ、是ヨリ贊否ノ御意見ヲ伺フコトニ致シマス、又ソレニ就テモ討論ノ通告ガゴザイマスカラ、其順ニ依ッテ土井君ノ發言ヲ願ヒマス

○土井權大君 此住宅組合法ニハ非常ニ贊成デゴザイマス、如何トナレバ衣食住ハ、實ニ人生缺クベカラザルモノデアリマス、然ルニ都會ト云ハズ、又田舎ニ行キマシテモ、工場ナドノ出來ル所デハ此住宅難ニ苦シンデ居ル際ニ、斯ノ如キ結構ナ社會政策ノ實行上必要ナ住宅組合法ノ出タト云フコトハ、獨リ吾々ノ喜ブノミナラズ、住宅難ニ苦シンデ居ル人モ喜ブコトデアラウト思ヒマス、私ハ全ク滿腔ノ敬意ヲ以テ贊成ヲ表スルノデアリマス、併ナガラ茲ニニ御注意致シタイノハ、先日モ申上ゲタコトデアリマスガ、此住宅組合ヲ統括スル所ノ聯合組合ノ如キモノヲ設ケナカッタラバ、此住宅組合法ヲ運用スル上ニ於テ、又組合ソレ自

○淺賀長兵衛君 本員モ此社會政策の意味ヲ包含セル住宅組合法ニ就テハ、滿腔ノ贊意ヲ表シマス、而シテ希望ヲ一二述べタイト思ヒマス、其第一ハ先刻政府ノ御答辯ニ依ルト、此法人ハ中間法人ヲ意味シテ居ッテ、營利的の中間法人並ニ公益的の法人ヲ含ム、即チ營利的の中間法人ヲ含ムト云フト、要スルニ現下社會ニ彌漫セル營利的の法人カラ、主トシテ

社會政策的施設ヲ惡用サレル傾向ガ顯著ナルモノ
デアリマス、此住宅組合法ガ成功ノ曉ニ於テ、偶
營利的中間法人ガ續出シテ以テ社會政策的施設ヲ
惡用シテ、住宅組合法ノ眞ノ目的ヲ阻害スルヤウ
ナコトアルヲ優フルノデアリマス、故ニ此點ニ就
テハ、特ニ政府ニ於テ此法案施行ノ曉ニ就テハ、十
分御留意アラシコトヲ願ヒマス、第二點ハ今土井
君カラ述ベラレタ惡イ組合員ニ對スル豫防ニ就テ
モ、充分御留意アラシコトヲ希望シテ、本案ニ贊成
ノ意ヲ表シマス

○委員長(福井三郎君) 別ニ反對ノ御意見ハアリ
マセヌカ、土井君ノ贊成說、淺賀君ノ贊成說ガアリ
マシテ、希望付ノ贊成デアリマス、其外別ニ御意見モ
無イヤウデアリマスガ、決定シテ宜シウゴザイマスカ
○土井權大君 一寸落シマシタガ、住宅ニ要スル
用地、宅地ヲ收容スルニ就テモ、成ベク住宅組合員
ノ利益ナルヤウナ方法ヲ御考ヲ願ヒマス、此事ヲ
附加ヘテ置キマス

○委員長(福井三郎君) 以上ノ御希望ガ添ウテ贊
成ト云フコトデアリマスガ、御異議ハアリマセヌ
カ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○委員長(福井三郎君) 御異議ナイト認メマシ
テ、本案ハ以上ノ御希望付テ原案通り可決シタル
コトヲ宣告致シマス、是デ付託ノ一案共審査ヲ了
シマシタ、是デ散會致シマス

午後二時十三分散會